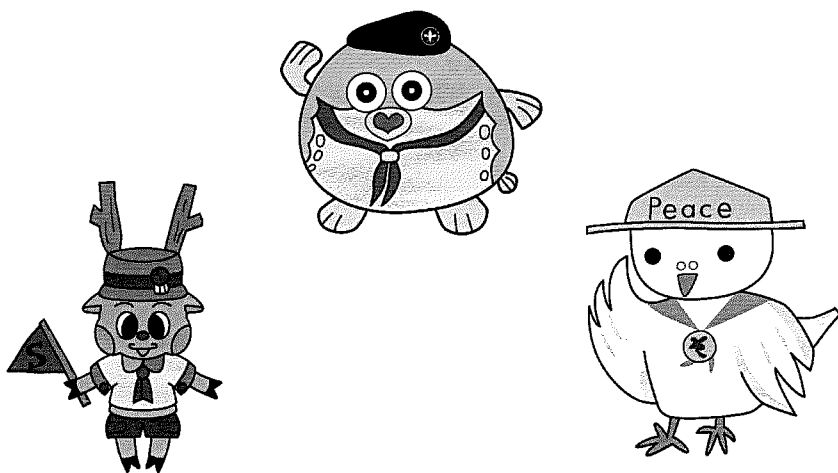


# 16NJ / 30APRSJ プログラムアウトライン

## 【稿本】

※完成版を後日、県連盟へ送付する予定です。



2013年4月12日時点

## INDEX

- 大会概要	● ページ
- 大会プログラム	● ページ
(1) サブキャンプライフ	
(2) 場内プログラム	
- Global Development Village	● ページ
- Cross Road of Culture	● ページ
- City of Science	● ページ
- Free Time Activities	● ページ
- 信仰奨励活動	● ページ
(3) 場外プログラム	
- 地域社会奉仕	● ページ
- 自然探求	● ページ
- 水上活動	● ページ
- 広島ピースプログラム	● ページ
※広島市平和祈念式典	
(4) セレモニー	
- 開会式	● ページ
- 教宗派を超えた集い	● ページ
- アリーナショー	● ページ
- 閉会式	● ページ
(3) その他	
- 文化交流デイ	● ページ

## 大会概要

### 1. 第16回日本ジャンボリースケジュール

#### (1) 日程

平成25年7月31日(水)～8月8日(木) 8泊9日

#### (2) スケジュール概要

	29日 (月)	30日 (火)	31日 (水)	1日 (木)	2日 (金)	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)	7日 (水)	8日 (木)	9日 (金)	
06:00	起床												
07:30	朝食												
09:00	大会運営スタッフ到着	大会運営スタッフトレーニング	参加者到着	参加者到着	プログラム&アクティビティ	宗教儀礼	プログラム&アクティビティ				参加者出発	大会運営スタッフ出発	
12:00				昼食									
14:00				開会式	プログラム&アクティビティ	アリーナイベント	プログラム&アクティビティ						
18:00				夕食									閉会式
19:30	夜のプログラム												

### 2. テーマとコンセプトキーワードについて

#### (1) テーマ 和 wa: a spirit of unity

伝統(tradition)と技術(technology)が交差する日本で、人類の平和(peace)と調和(harmony)をめざし、すべての青少年が一つにまとまり(unity)、明日の世界を切り開く(creating a better world)大会とするため、漢字の「和」を大会テーマとする。

日本語で漢字の「和」は、まとまり(unity)、調和(harmony/a spirit of unity)、協調(harmony)、仲むつまじさ(friendship)、平和(peace)、合計(the sum)、そして「日本」を意味する文化的概念を意味する。

#### (2) コンセプトキーワード

力(エナジー: Energy)

会場に集まる世界中のスカウトのエネルギー、世界中に広がるスカウト運動のダイナミズム、積極的に様々な課題や可能性に取り組むスカウトのアクティブさを表しています。

革新(イノベーション: Innovation)

ジャンボリーでの体験や、様々な伝統、ものごとの異なる視点を学ぶことで、新たなインスピレーションが生まれ、イノベーションへつながります。

調和(ハーモニー: Harmony)

文化も親交も生まれ育った環境も異なるスカウトが世界中からあつまり、お互いの違いを認め合い、協力し合う、スカウトの平和の文化を表しています。

コミュニケーション(Communication)

参加者自身の考えを積極的に表現し、相手との文化の違いを理解し、より良い方向へ行動を導くコミュニケーション能力を高める

### 3. 大会ロゴについて



日本特有の「水引き」をモチーフに、印象的な飾り結びと結び目はスカウトジャンボリーの仲間を象徴し、人が繋がる、世界が繋がるというメッセージが込められています。3つの色は、第23回世界スカウトジャンボリーとの両方のコンセプトである「力」「革新」「調和」を表現しており、特に緑は会場である山口県の豊かな自然を、青は瀬戸内海の内海を象徴しています。また、第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーとして開催されることから、アジア太平洋地域のマークが加えられています。

## ジャンボリープログラム

### 1. ジャンボリープログラム

第16回日本ジャンボリー（16NJ）は参加者にそれぞれの国や地域の特色を体験でき、様々な視点を得ることのできるプログラムを提供します。

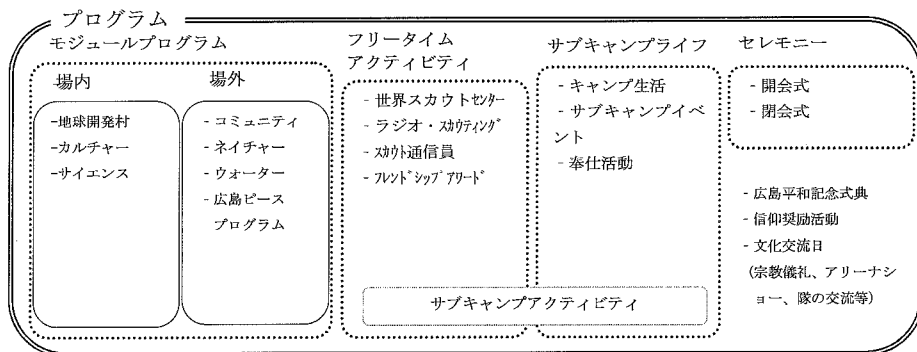
第16回日本ジャンボリー（16NJ）では、スカウト運動の使命である「Creating a better world」を向かって必要となる素養を培うため、参加者の身体的、知的、感情的、社会的そして精神的な成長を促す様々なプログラムを参加するスカウトたちに提供します。プログラムには大会が提供するモジュールアクティビティだけではなく、スカウトが相互に交流しサブキャンプでのキャンプ生活、世界中から集まった仲間たちとの出会いや交流などが含まれ、すべてのプログラムが大会のテーマである「Wa a spirit of Unity」とそれを補完する「Energy」「Innovation」「Harmony」「Communication」の4つのコンセプトに繋がることで、大会の教育目標を達成できるように計画しています。

### 2. 教育目標

大会終了時に、以下の項目に参加するスカウトが達成していることを大会の目標とする

- 参加者のエネルギーが集まることで、世界を変える大きなエネルギーになることを知る
- 伝統と先端の技術や文化を体験することで、地球が直面する課題を解決するための革新を生み出すための素養を身につける
- 参加スカウトの出生、人種、信条の区別なく、より良い世界を作るために必要なスカウト同士のつながりを築き、協調性を養う
- 参加者自身の考えを積極的に表現し、相手との文化の違いを理解し、より良い方向へ行動を導くコミュニケーション能力を高める

### 3. プログラム概要



### 4. モジュールアクティビティについて

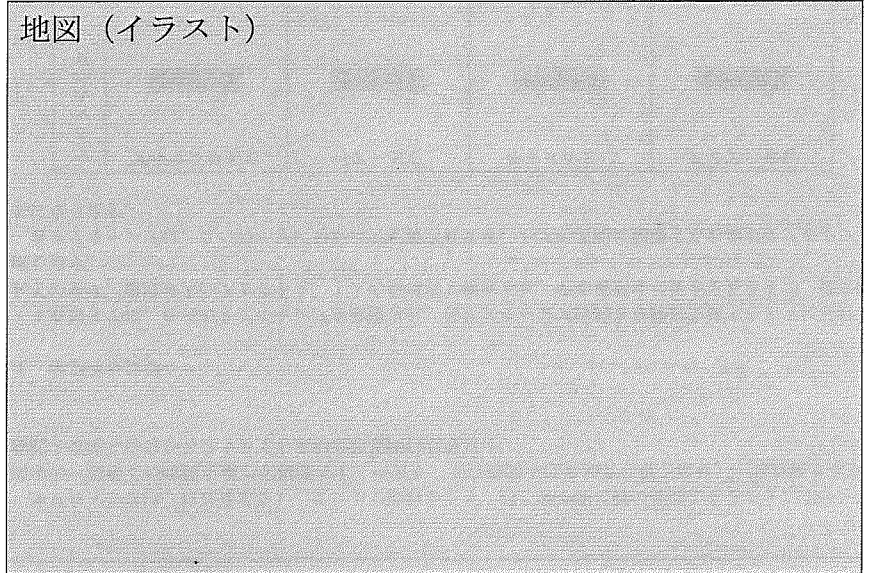
16NJのプログラムは、第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ、2015年）の開催を見据えて、23WSJ実施予定のプログラムをモジュール方式で提供します。モジュール方式とは、参加するスカウトがすべてのプログラムを体験できるように半日または1日単位で計画され、参加隊が配属されるサブキャンプに日ごとに割り当てられるプログラムに参加することで、閉会式までには参加者が同じプログラムを体験できるようにスケジュールされるプログラム提供方法です。

16NJにおいては、23WSJで想定している期間に比べプログラム実施期間が短いため、23WSJで実施している全てのプログラムを体験することはできません。参加者は、場内で行われる地球開発村（GDV）、文化の交差点（CRC）、科学の都市（COS）のすべてのモジュールアクティビティに加え、1つの場外プログラムに参加ことができ、モジュールアクティビティが割り当てられていない時間帯には、参加者が自由に選んで参加できるフリー・タイム・アクティビティ（FTA）で様々なプログラムに参加することができます。

場外プログラムについては、会場を一望できる藤尾山登山ハイキングや会場のある歴史豊かな阿知須町のハイキング等に加え、山口県内の市町を訪れるコミュニティプログラム、広島での広島ピースプログラムなどがあり、SCごとに割り当てられたプログラムに参加することになります。

23WSJのリハーサルとして、外国からの参加者については場内で行われる3つのモジュールアクティビティに加え、2つの場外プログラムに参加することになります。

### 5. 会場図



## 6. SC別モジュールスケジュール

ハブ	SC	グループ	8/1	8/2 (金)	8/3 (土)	8/4	8/5 (月)	8/6 (火)	8/7 (水)	
アニマルハブ	アルマジロ	α	開 会 式	GDV	-	広島ビース プログラム	CRC	-	-	
		β								
		★								
	ベア	α		COS	GDV	-	-	-	-	-
		β								
		★								
	キヤメル	α		-	CRC	広島ビース プログラム	-	-	-	-
		β								
	ディア	α		-	GDV	-	CRC	-	-	-
		β								
バードハブ	イーグル	α	COS	CRC	-	-	-	-		
		β								
	ファルコン	α	ネイチャー	COS	-	-	-	-		
		β								

※GDV (Global Development Village) : 地球開発村 (グローバル・ディベロップメント・ビレッジ)

※CRC (Cross Road of Culture) : 文化の交差点 (クロスロード・オブ・カルチャー)

※COS (City of Science) : 科学の都市 (シティ・オブ・サイエンス)

## 7. 参加人数想定について

(参加者数 12,000 人、内外国参加者数 800 人想定、但し人数想定は今後調整する)

モジュールアクティビティ名	8月2日	3日	5日	6日	7日	合計				
GDV (半日)	★2000	2000	★2000	-	2000	2000	-	12000		
CRC (半日)	-	★2400	2600	★2400	1600	-	1400	2600	-	12000
COS (1日)	-	★4000	2000	4000	★2000	-	-	-	12000	
コミュニティ (1日)	-	-	-	★1200	★1200	-	-	2400		
ネイチャー (1日)	-	-2000	-	★3200	1200	-	-	6400		
広島ビースプログラム (1日)	-	-	4000	-	-	-	-	4000		

## サブキャンプライフ (Sub Camp Life) について

サブキャンプは、毎日食事をし、テントで睡眠をとり、同じ班や同じ隊の仲間たちとジャンボリー期間中の一番多くの時間を過ごす場所です。つまり、大会期間中は参加者の家となり、一日を振り返り、仲間と気持ちを分かち合うとても大切な居場所になります。

### 1. サブキャンプ

16NJでは、6つのサブキャンプが設置され、各サブキャンプは約50隊が生活するように設計されています。班は9人のスカウトと、1人の指導者で構成され、その班が4つまとまることで、隊を編成します。

各サブキャンプは、2つのハブに分かれて配置されます。ハブの名前に関連する名前がサブキャンプ名になります。

アニマルハブ	アルマジロSC	ベア-SC	キヤメルSC	ディア-SC
	【マーク】	【マーク】	【マーク】	【マーク】
バードハブ	イーグルSC	ファルコンSC		
	【マーク】	【マーク】		

### 2. デイリーライフ

ジャンボリーは長期間の野外生活となり、この長期間のキャンプにはじめて挑戦する参加者が多くいます。1泊2日の週末のキャンプでは、寝る時間が少し遅くなっても大丈夫な時もありますが、ジャンボリーは長丁場です。また、日中の気温も高く、睡眠がジャンボリーを楽しむために重要な役割を担います。

また、朝早くから活動を開始するため、空腹では日中力が入らず楽しむことができません。よく食べることでエネルギーを補給し、慣れない環境、慣れない水、慣れない生活スタイルをひとつひとつ乗り越え、少しずつ生活に身体を適応させてください。

調理について、カセットガスを燃料にしたカセットガスコンロを使用してください。火器の使用については、大会で発行予定の火器の使用に関する文書 (ファイアプロテクション) を参照ください。

班ごとに調理することで、決められた食材をうまく活用し、料理の技術向上を促します。あわせ

て協働作業をする時間を確保することで、班員の協調性を育み、調理や配給を担当することで班内役割への理解を深め、班長等の指導力の向上する機会が生まれます。ただ単なる食事として捉えるのではなく、スカウトの成長を促す大切な機会としてジャンボリープログラムの大きな役割を占めます。

サブキャンプ内に配置される各隊のキャンプサイトには、スカウトや指導者が生活するテントや食事をするタープ、隊集会を行う広場、調理場、洗濯物干し場など様々な役割を担う場所が必要になります。限られた場所でのようにそれぞれを配置することで、より快適な生活を送ることができるのかを考えることで、スカウトたちの成長を促します。

### 3. サブキャンププログラム

サブキャンプでは、参加者の自由な時間に参加できるサブキャンププログラムが計画されています。フットサルやバレーボール、綱引き、玉入れなどのアクティビティに加え、参加者は準備訓練等で準備してきた演技を披露する機会もあります。また、毎朝ハブにある広場ではラジオ体操も計画されています。海外からやってくるスカウトたちにとっては、音楽に合わせてスカウトたちが一斉に同じ動きをするラジオ体操は、驚くに違いありません。より楽しく、より快適に、より多くのスカウトと交流ができるようなプログラムを提供します。

### 4. サブキャンプでの協力事項

サブキャンプは家である。つまり、日々の生活をおくるためには、掃除やゴミ出しなどが欠かせません。自分のテントサイトを普段からきれいに使用することだけではなく、サブキャンプにある他の隊との共有部分 (Common Space) においても、自分自身の家だと思って掃除に協力してください。清掃活動を行うことでより快適に、より清潔になり、気持ちよくジャンボリーにおけるキャンプ生活を送ることができます。また、ゴミについても、できるだけ環境に配慮し、節減してください。ゴミ収集についても、収集時間や分別方法が決まっています。

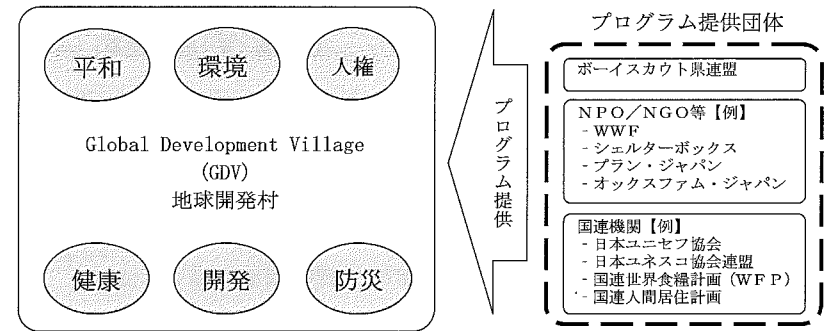
## Global Development Village (GDV) について

### 1. 概要

地球規模の多くの問題とその重要性に対して「平和」「環境」「人権」「防災」「健康」「開発」の6つの視点から意識を高め、改善に向けた活動への動機付けを目標とする。特に「火山・地震・津波等の災害への対応」をクローズアップする。災害に関するグローバルネットワークについて、国連機関、NGO、NPO等に積極的に協力を依頼する。

これらの内容は、インターネット等を通じて、事前プログラムとして参加者に公開すると共に、ジョイン・イン・ジャンボリーとして、参加者以外にもプログラムとして提供する。

### 2. イメージ図

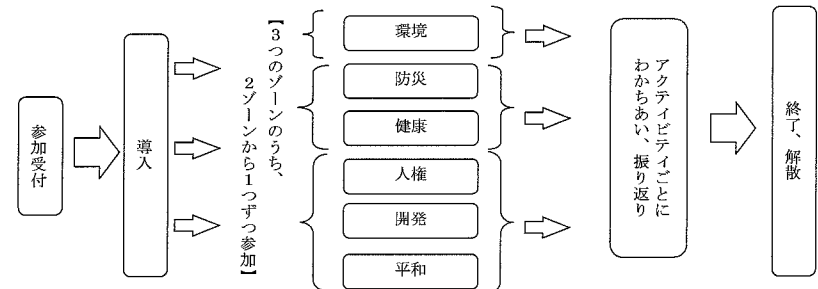


### 3. 教育目標 (例)

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・ 平和、環境、健康、人権、開発、防災といった視点から世界が抱える問題を知る
- ・ 自分自身の生活が小さな社会の中で成り立っているのではなく、世界に広がっていることを知る
- ・ 自分が行動することで、社会に貢献出来ることを知る
- ・ ジャンボリー終了後、地域に戻った後に行動しようと思うきっかけを作る

### 4. 参加の流れ

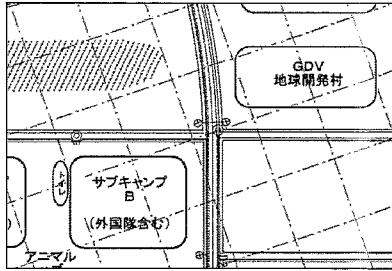


## 5. 持参するもの

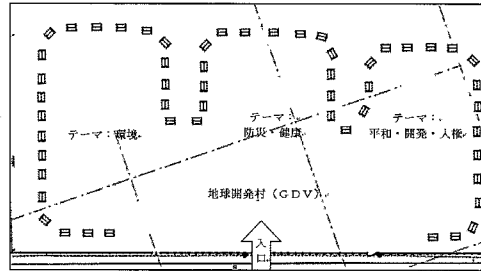
参加者ハンドブック、水筒、帽子、筆記用具

## 6. 会場図 (例)

(1) プログラムエリア配置図



(2) プログラムエリア詳細図



※テントの配置等については、今後変更されることがあります。

## 7. 参加方法 (案)

GDVに参加するSCのスカウトは9時または14時までに、GDVのプログラム実施エリア(左図の右上)の広場に集合してください。参加の受付、モジュールの導入を実施した後に自由に各テントを訪問し、プログラムに参加します。プログラムは6つのテーマが設定され、それらが3つのゾーンに分かれてテントが配置され、ワークショップの提供や展示が行われています。1回あたり60分を目安に実施されているため、最大3つのワークショップ・展示に参加することができます。ただし、3つのゾーンのうち2つのゾーンから1つずつ、計2つのワークショップ・展示を体験することがGDV修了要件になります。

場内で実施するモジュールアクティビティのため、指導者の同行は必要ありません。

## 8. 提供アクティビティ概要

### (1) 【平和】スマイル平和大国

県連盟派遣団提供プログラム (東京)

日本のアニメを通して平和へのメッセージを読み解き、「いつも笑顔でいられる平和な世界を維持して行く」ことについて考えるワークショップ。平和へのメッセージを参加者同士で共有し、理解を深める。

### (2) 【平和】ピース連凧作り

県連盟派遣団提供プログラム (富山)

スカウトとして平和について考え、平和へのメッセージやイラストを凧に描き、班ごとに連凧を作成し、平和への願いとともに空へあげるワークショップ。

### (3) 【平和】地雷教育

県連盟派遣団提供プログラム (愛知)

アフガニスタン等で行われている地雷教育を体験することにより、世界の紛争地帯のことを知り、自分の国での生活と比較することで、世界平和について考えるワークショップ。

### (4) 【平和】赤十字活動の紹介

県連盟派遣団提供プログラム (神奈川)

国際人道法を学び、世界の現実と武力紛争の犠牲者の悲惨な状況に理解を深めることにより、平和な社会においても必要な人間として対人関係の基本ルールを考えるプログラムです。

### (5) 【環境】世界未来遺産

日本ユネスコ協会連盟

【内容調整中】発展途上国の教育支援を行う「世界寺子屋運動」、世界遺産を守る「世界遺産活動」、日本の文化・自然を守る「未来遺産運動」について学習し、自らのできることを考えるワークショップです。

### (6) 【環境】絶滅危惧種の保存

世界自然保護基金 (WWF ジャパン)

【内容調整中】絶滅危惧種の選定と保全活動に関する現状と課題を知り、自らが明日から取り組める活動について考えるワークショップです。

### (7) 【環境】世界の住居

国連人間居住計画 (UN ハビタット)

【内容調整中】環境を損なったり資源を消費することなく、人々が住むに適する「スラムのない都市」の実現に向けた活動について学習し、都市の構築・管理・計画・財政など様々な分野について考えるワークショップです。

### (8) 【環境】世界の青少年を取り巻く環境

国連児童基金 (ユニセフ)

【内容調整中】開発途上国の児童の福祉増進に関する運動について学び、世界の青少年を取り巻く環境について考えるワークショップです。

### (9) 【環境】液状化に関するワークショップ

県連盟派遣団提供プログラム (茨城)

地震等による液状化現象を実験により体験し、危険性とその対応について考えるワークショップです。

### (9) 【環境】足尾銅山鉱毒事件

県連盟派遣団提供プログラム (栃木)

日本の公害の原点といわれる足尾銅山鉱毒事件に関する展示を通して、没後100年を迎える政治家田中正造の公害に立ち向かう姿を学び、現在行われている「足尾を森に」の活動を知り、環境と自然の関係性や大切さを認識するアクティビティ。

### (10) 【環境】谷津干潟と環境保全

県連盟派遣団提供プログラム (千葉)

ラムサール状況に登録されている「谷津干潟」の環境保全の取り組みを知ること、自分の住んでいる国や地域で環境保全のために何ができるかを考えるワークショップ。

### (11) 【環境】人口増加と食糧問題

県連盟派遣団提供プログラム (千葉)

江戸時代の飢饉における青木昆陽の功績と現在世界で起きている食糧問題を通じ、日々の食事のありがたさ、他の人々の恩恵によって生かされていることを理解し、感謝の気持ちを育てるプログラム。

### (12) 【環境】水の大切さ

県連盟派遣団提供プログラム (埼玉)

自然の優しさや脅威を知ること、生活に欠かせない重要な水の大切さについて理解し、自然と人間の関係について考えるワークショップ。

(13) 【環境】 間伐の重要性 県連盟派遣団提供プログラム (神奈川)

多くの生物が息づく多様性のある森ができる過程を知り、間伐の必要性を理解し、その有効利用について考えるワークショップ。

(14) 【環境】 トキの野生復帰 県連盟派遣団提供プログラム (新潟)

朱鷺と人間が共生できる自然環境作りの活動内容などを知り、スカウトとしての取り組み可能な活動を話し合うワークショップです。

(15) 【環境】 エコキャップ回収 県連盟派遣団提供プログラム (石川)

今までリサイクルされずに焼却されていたペットボトルのキャップを回収し、そのリサイクルで得た共益を使って、開発途上国の子どもたちのワクチン代として活用し、人類愛・地球規模での環境問題を理解するアクティビティ。

(16) 【環境】 世界文化遺産の意義 県連盟派遣団提供プログラム (静岡)

世界文化遺産登録を目指す「富士山」の四季・信仰・日本人の富士山へのあこがれ(崇拜)をパネル等で紹介し、世界文化遺産登録への意義を知るアクティビティ。

(17) 【環境】 エネルギーと環境 県連盟派遣団提供プログラム (岐阜)

石油・石炭等の限られたエネルギー資源を有効活用する必要性を知り、次世代エネルギーとして注目されている燃料電池の仕組みについて理解し、エネルギー問題と地球環境との関係性を学ぶワークショップ。

(18) 【環境】 牛乳パックの紙すき体験 県連盟派遣団提供プログラム (愛知)

牛乳パックの紙すきを体験することにより、そのリサイクル方法と回収のルールを知り、森林保全や資源の大切さについて気づきプログラム。

(19) 【環境】 琵琶湖と環境 県連盟派遣団提供プログラム (滋賀)

日本一の大きさを誇る琵琶湖を紹介し、水環境について考えるワークショップ。外来魚と固有種との関係を探り、環境保護と命を考え、地元の湖沼、河川での問題点を理解を深める。

(20) 【環境】 キャンプと環境 県連盟派遣団提供プログラム (奈良)

日常のスカウトキャンプからどれくらい環境を考えたプログラムがなされているかを話し合い、実際何かの道具を作成するワークショップです。

(21) 【環境】 温室効果ガス 県連盟派遣団提供プログラム (大阪)

私たちの日常生活において、温室効果ガスの排出とどのような関連があるか。またどのような影響を与えているかをゲームを通じて考えるワークショップです。

(22) 【環境】 ゴミ処理と環境問題 県連盟派遣団提供プログラム (大阪)

自分たちが出しているゴミを、どのように減らしていくのか、また減らすことが環境へどのように影響するのかをゲームを通じて考えるワークショップです。

(23) 【環境】 環境微生物 県連盟派遣団提供プログラム (愛媛)

「えひめA I-2」を活用した事例について学習し、実際にMA I E N Z A製法作成するワークショップです。

(24) 【環境】 公害とリサイクル 県連盟派遣団提供プログラム (福岡)

公害克服の歩みと環境を未来に引き継ぐ取り組み及び水の循環について、展示やクイズ形式で学習することにより、自分たちができる環境保護の取り組みと未来の地球を考えるプログラムです。

(24) 【環境】 水俣病と環境 県連盟派遣団提供プログラム (熊本)

熊本県においては地下水に恵まれていること、また水俣病という公害が発生した地でもある。これらについては全世界的な課題ともなっており、これらをテーマにして、参加スカウトの地域における現状と比較し、また意見交換を交えながら、問題解決への糸口、および世界との関わりという観点から個々で考えてみる。

(25) 【健康】 ●●●●●● 国連世界食糧計画 (WFP)

【内容調整中】 難民、国内避難民、栄養不良の子ども、妊婦、授乳中の母親などを含む数百万人に不可欠な食糧と栄養を届ける支援活動などについて学習しこれからの活動について考えるワークショップです。

(26) 【健康】 ドラッグの危険性 麻薬・覚せい剤乱用防止センター 県連盟派遣団提供プログラム (福岡)

麻薬、覚せい剤等の乱用に伴う危険性を学び、薬物乱用に絶対に手を出さないという気持ちを育むプログラムです。

(27) 【健康】 タバコの害 世界保健機構 (WHO)

【内容調整中】 タバコの規制に関する取り組みを通して、自らの健康を考えるきっかけとするワークショップです。

(28) 【健康】 生活習慣病 県連盟派遣団提供プログラム (東京)

生活習慣病を予防するための食品などについて知ることにより、自らの食生活を考えるきっかけとするワークショップです。

(29) 【健康】 心肺蘇生応急措置 県連盟派遣団提供プログラム (大阪)

大阪市消防局編集指導の応急手本「ボジョレーに教わる青少年用救命ノート」の内容を理解し実践できるように学習するプログラムです。

- (30) 【健康】 体内の水 県連盟派遣団提供プログラム (埼玉)  
経口保水液・魔法の水の作成を通して体内の水のしくみや大切さについて考えるアクティビティ。
- (31) 【人権】 ストリートチルドレン WOSM・APR事務局  
【内容調整中】WOSM・APR事務局が携わっているストリートチルドレンに関する現状について知り、自らのできる活動について考えるワークショップです。
- (32) 【人権】 女の子も学校に通える世界を目指して 国際NGOプラン・ジャパン  
アジア、アフリカの途上国と呼ばれる国々では、女の子というだけで、食事は父親や男兄弟の残り物、そして学校へも通わせて貰えないことが珍しくありません。私達にできることを一緒に考えるワークショップです。
- (33) 【人権】 難民 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)  
【内容調整中】UNHCRの活動をとおして世界の難民問題について知り、自らのできる活動について考えるワークショップです。
- (34) 【人権】 内戦・紛争 県連盟派遣団提供プログラム (東京)  
日頃全世界で起きている内戦・紛争の最大被害者は誰かを理解させ、生活が激変することを食を通して体験します。自らの支援の方法を考えるワークショップです。
- (35) 【人権】 障がい体験 県連盟派遣団提供プログラム (静岡)  
障がい者体験と関わりを通し、次世代の障がい者との関わり方・考えを学ぶワークショップです。
- (36) 【人権】 学校に行けたらいいな 県連盟派遣団提供プログラム (愛知)  
児童労働のため学校に行けない子どもたちの生活体験を通して、途上国の子どもたちの置かれている環境を知り、自分の置かれている社会と比較することにより、人権について考えるプログラムです。
- (37) 【開発】 生態系サービスと森林開発 県連盟派遣団提供プログラム (東京)  
森林が人類に与えている有益な影響について考え、持続させるために適切な森林の開発について考えるワークショップです。
- (38) 【開発】 公正な地球社会 国連開発計画 (UNDP)  
UNDPの活動を通して貧困や復興などの国毎の諸問題を知り、人々がより良い生活を築くべくにはどのような活動ができるのかを考えるワークショップです。
- (39) 【開発】 貿易ゲーム 県連盟派遣団提供プログラム (大阪)  
ゲームを通じて、先進国と途上国の経済的・社会的な格差を体験し、国際社会の問題について考えるきっかけとするワークショップです。

- (40) 【防災】 災害時の取り組み 県連盟派遣団提供プログラム (兵庫)  
阪神淡路大震災における被害状況やスカウトの活動状況について学習し、これからの災害時等における実践を考えるワークショップです。
- (41) 【防災】 被災地のこども支援活動 県連盟派遣団提供プログラム (神奈川)  
被災地こども支援活動「こどもわくわく隊」の活動を知り、普段のボーイスカウトの訓練や活動が、災害に備えることや、支援活動にも活用できることを体験するプログラムです。
- (42) 【防災】 災害時の救援用品 シェルターボックス  
【内容調整中】自然災害に見舞われた地域や、紛争が勃発した地域への活動について知り、これからの災害時等における実践を考えるワークショップです。
- (43) 【防災】 防災グッズ作り 県連盟派遣団提供プログラム (兵庫)  
ボーイスカウトの技能を活かし、大災害大事故などに有用なグッズを考え、実際に製作するプログラムです。
- (44) 【防災】 防災対策ー「Be Prepared」 県連盟派遣団提供プログラム (兵庫)  
大災害・大事故などの時に人を助けることができるよう、どのように備えるか、何をなすべきか、阪神・淡路大震災、東日本大震災の事例を通じて考え、日ごろの実践につなぐプログラムです。
- (45) 【防災】 阪神淡路大震災 県連盟派遣団提供プログラム (兵庫)  
阪神淡路大震災における被害状況、ボーイスカウトの活動状況を紹介し、これからの災害時等における実践を考えるプログラムです。
- (46) 【防災】 大規模災害を生き抜く知恵 県連盟派遣団提供プログラム (大阪)  
避難ツールとしての防災セットを考えることにより、普段の生活を支えているものは何かを知り、防災セットの中身を確認することで、防災意識を向上させ日ごろの活動で何ができるかなどを考えるワークショップです。
- (47) 【防災】 防災頭巾作り 県連盟派遣団提供プログラム (愛知)  
手作り防災頭巾を製作することを通して、自分の身は自分で守ることを知り、「そなえよつねに」の精神を自覚するプログラムです。
- (48) 【防災】 水害対策 県連盟派遣団提供プログラム (埼玉)  
日本の土木技術の素晴らしさについて触れ、水災害による問題をどのように乗り越えたかを知ることにより、世界で同じ問題を抱える国々に伝ええるかを考えるワークショップ。



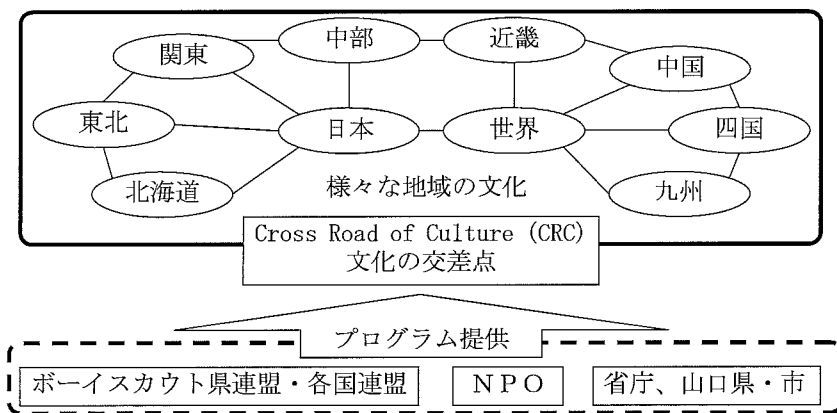
## Cross Road of Culture(CRC)について

### 1. 概要

文化の交差点は半日のモジュールプログラムで、世界各国独自の音楽、踊り、衣装、食事などの文化を体験することで、文化の多様性について理解し、他の文化と自国の文化に対する感謝と尊敬の念を養う。世界の文化を対象とし、各国派遣団提供プログラムを受け入れると共に、「日本への文化の伝来」や「ヨーロッパからアメリカへの文化の伝来」、「シルクロードによる文化の伝来」等の「伝来」を理解する場とする。

そして、「世界の文化が花咲く開催国日本」への理解を深めることを目標とする。また、日本から発信する「アニメ」等の現代文化の紹介を会場内にスタジオを設置し、「制作技術」を含めて行う。また、会場内で「ムービーフェスタ」を開催する。

### 2. イメージ図

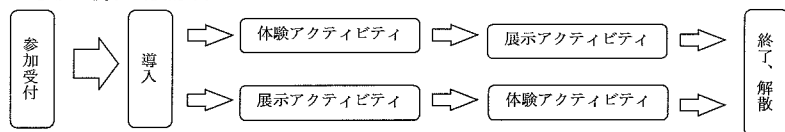


### 3. 教育目標 (例)

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・自分の文化とは違う文化を体験する
- ・文化の違いを発見し、理解し、尊重するための下地を作る
- ・文化のつながり、伝来を理解する
- ・ジャンボリー終了後、自分の文化をより知ろうと思うきっかけを作る

### 4. 参加の流れ (検討中)

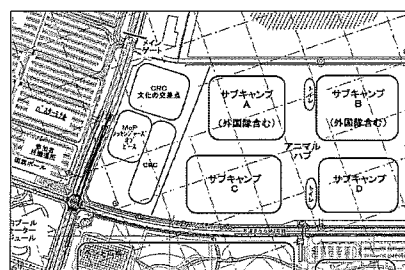


### 5. 持参するもの

参加者ハンドブック、水筒、帽子、筆記用具

### 6. 会場図 (例)

(1) プログラムエリア配置図



(2) プログラムエリア詳細図



※テントの配置等については、今後変更されることがあります。

### 7. 参加方法 (案)

カルチャーモジュールに参加するSCのスカウトは9時までに、カルチャーモジュールのプログラム実施エリア (左図) の広場に集合してください。参加の受付、モジュールの導入を実施した後自由に各テントを訪問し、プログラムに参加します。プログラムは地域ごとに3つのゾーンに分かれてテントが配置され、ワークショップの提供や展示が行われています。1回あたり60分を目安に実施されているため、最大3つのワークショップ・展示に参加することができます。ただし、3つのゾーンのうち2つのゾーンから1つずつ、計2つのワークショップ・展示を体験することがカルチャーモジュール修了要件になります。

場内で実施するモジュールアクティビティのため、指導者の同行は必要ありません。

### 8. 提供アクティビティ概要

#### (1) アイヌ文化紹介・ムックリ作り【北海道】

アイヌ文化全般についての資料展示やクラフト制作、ビデオの上映、アイヌの代表的楽器「ムックリ」作りを行うことにより、自然への畏敬の念や恵みへの感謝、また自然とともに生きる知恵と力を育むプログラム。

#### (2) ミス・ビードル号紹介・紙飛行機作り【青森】

ミス・ビードル号による日米間初の太平洋無着陸飛行の偉業を讀え、記録に挑む強さと柔軟な発想の大切さを学び、競技用飛行機を制作することにより、飛ばす難しさと微妙な調整の感覚を体験することのできるプログラム。

#### (3) 後藤新平紹介・自治三訣写経体験【岩手】

岩手県出身である後藤新平についての理解を深め、彼が行った関東大震災からの復興を学び、今回の震災からの復興を考える。また、後藤新平の「自治の三訣」を写経することにより海外スカウトが日本文化を体験する機会を持つことを目的としたプログラム。

#### (4) レザークラフト体験【宮城】

ハンドクラフトの中の一つ「レザークラフト」体験を通して、もの作りの大切さを知り、作品を完成させた喜びを味わう。また、プロのクラフトマンの技を見せ驚異と感動を与え、スカウトの将来に繋げることを目的としたプログラム。

(5) 魚網のビーズアクセサリ作り体験【宮城】

東日本大震災の心の復興と亡くなられた方々の鎮魂の願いを込めて数珠の形で「絆」ビーズアクセサリを制作することによって、震災のことを忘れずに、参加した仲間との「絆」を深めるプログラム。

(6) 内容調整中【秋田】

(7) 花笠踊り体験【山形】

山形の代表的な祭りである花笠祭り（踊り）を体験し、参加者相互の親睦・交流を図り、各地の地域文化の独自性や特徴について理解を深めることを目的としたプログラム。

(8) 復興する姿【福島】

福島県の文化や歴史を紹介し、震災により損なわれた風土を見ることにより自然環境の大切さを知り、復興する様子を紹介しエネルギー問題の提起に繋げることを目的としたプログラム。

(8) ガマの油売り【茨城】

茨城県筑波名物であるガマの油売りを体験するプログラム。

(9) 古代の火起こし【栃木】

参加するスカウト達に火の起こし方を体験させることで、火にまつわる人々の知恵や苦労を知り火の起こる仕組みを学ぶ。また、火を起こす喜びを体感し火の大切さやありがたさを理解し、信仰との繋がりについても学ぶプログラム。

(10) こんにやく作り【群馬】

群馬県が生産量日本一を誇るこんにやくを、鉢植えの段階から生玉のこんにやく芋、粉、こんにやく製品までを展示し、こんにやくについての知識を深め、自らこんにやく作りを体験して不思議な食べ物であるこんにやくを理解するプログラム。

(11) アニメーション作り【埼玉】

埼玉県秩父市を舞台にしたアニメ「あの花の名前を僕たちはまだ知らない」の映像を活用し声優にチャレンジしたり、アニメの作り方を体験する。また、埼玉県をテーマにしたアニメーションを題材とすることで同県のPRを行うことを目的としたプログラム。

(12) 伊能忠敬測量ゲーム【千葉】

千葉県出生の伊能忠敬の功績を学びながら、巨大迷路の見取り図を歩測によって作製することで、参加するスカウトに地形図への興味を持たせ測量について学ぶ機会を持たせることを目的としたプログラム。

(13) 箱根寄木細工体験【神奈川】

箱根町の伝統文化である箱根寄木細工についての歴史や製法を知り、実際に「ズク」を貼る作業を体験しチーフリングを作成することで、緻密な細工をして作る日本人の手先の器用さやデザイン的美しさに触れ、寄木細工の素晴らしさを感じることを目的としたプログラム。

(14) 富士山紹介【山梨】

江戸時代に顕著になった「富士山信仰」を通じて、古来人々が自然物を対象にした信仰を知り、また芸術の題材としての「富士山」を知ることによって、日本文化に触れる機会を持つプログラム。

(15) 江戸文化紹介【東京】

江戸の昔より東京に受け継がれている伝統産業や伝統文化を知り学ぶとともに、伝承技能を体験することで、手作りの楽しさを体験することを目的としたプログラム。

(16) 鋳物体験【富山】

富山県高岡市の伝統産業である「鋳物」について学び、鋳物で作られた焼印（大会マークや団号章）を革に押しつけてタグを作ることによって、鋳物の歴史や作業工程について知ることを目的としたプログラム。

(17) 金箔張り体験【石川】

石川県の伝統工芸である金箔張りの体験を通して、伝統工芸の素晴らしさを知り、金箔の美しさや金箔の延びのすごさを知ることのできるプログラム。

(18) 恐竜の歴史【福井】

約6550万年前に絶滅したといわれる恐竜についてそのデータをパネルで紹介し、クイズと恐竜の歯のレプリカを作る体験を通して、古代に思いを馳せ、生命のつながりを感じながら恐竜が絶滅したのは何故かを知り、環境について考えるプログラム。

(19) 水引体験【長野】

23WSJおよび16NJのロゴマークになっている水引の由来を知り、実際に水引作り体験を行うプログラム。

(19) 風呂敷文化体験【岐阜】

風呂敷を利用し、様々な形状の物を包み運ぶことで、日本古来の「風呂敷」文化を実際に体験し、結び目とラッピングとしての美しさ、運ぶ道具としての便利さを知ることを目的としたプログラム。

(20) 草木染め体験【静岡】

伝統工芸である「草木染め」の体験を通して、自然のものを活用することで改めて自然保護の必要性を再認識し、完成した手ぬぐいは記念品となることから、スカウト達の思い出づくりの一片にもなるプログラム。

(21) 茶道体験【愛知】

日本の伝統文化である茶道を体験することにより、相手をもてなすという茶湯の精神を知り、他人への思いやりと感謝の心を育むプログラム。

(22) 伊勢型紙染め体験【三重】

伊勢型紙の歴史、伝統、着物文化等を学ぶとともに、工作を通じて刃物の取り扱いを学び、伊勢型紙によって自分だけの16NJ記念品を作るプログラム。

(23) 近江神宮と日時計【滋賀】

天智天皇をまつり古都近江大津宮跡に鎮座する近江神宮の歴史、特に漏刻といわれる水時計について、パネル展示とクイズで紹介する。また、野外活動でも使える日時計を作成しこのジャンボリー中に実際に使用し、時について考えるプログラム。

(24) 友禅染体験【京都】

(25) 日本の城紹介【兵庫】

国宝「姫路城」の歴史や逸話、改修の様子を学ぶ体験を通して、姫路城の素晴らしさを知り、日本の古い建造物や日本文化を大切にすることを目的としたプログラム。

(26) 奈良の文化遺産と歴史【奈良】

古都奈良の文化遺産を通して文化財の意味を知り、今日まで守り続けてきた先人達の活躍から文化財保護の必要性を学んだり、都市近郊で野生の鹿と共生する奈良をモデルに、自然界の浄化作用と自然環境について違った角度から認識するプログラム。

(27) 世界遺産「高野山」の紹介【和歌山】

(28) 万葉集と書道体験【大阪】

日本の伝統文化である書道体験や、気に入った万葉集の歌を選び意味を理解するとともに筆で書くことで、日本最古の和歌集である万葉集に親しみ、日本の歴史を振り返る機会を持つことのできるプログラム。

(29) マンガと砂丘 夢とロマンの鳥取県【鳥取】

日本一の鳥取砂丘の成り立ち・歴史等について学ぶとともに、自然の偉大さに触れ、鳥取が誇るマンガの紹介・妖怪チーフリング作りを体験するプログラム

(30) 神話とクラフト体験【島根】

神楽や神話の歴史について説明を受けた後、チーフリングの中から1つを選び、それに色付けて完成させ記念品として着用することで自国の古代史を知り、文化が古代から現在まで連なっていることを知るプログラム。

(31) 粹呑(スイトン)色付け体験【岡山】

岡山県蒜山地方に古くから住んでいた「粹呑」という怪物をミニチュアサイズに加工した木棒に色付けをして作製する体験を通して、蒜山地方の伝来を知り日本古来の教えが「ちかい」「おきて」の実践に通じることを認識するプログラム。

(32) けん玉・しゃもじレター作り体験【広島】

広島県の大まかな地図と共に、県内の主な観光地と、広島市の被爆から今日の復興の姿を写真を中心にパネル紹介した後、けん玉体験や宮島しゃもじ作り体験を行うプログラム。

(33) 見島の鬼ようず作り体験【山口】

16NJョイン・イン・ジャンボリーで紹介されている山口県の伝統文化である見島の鬼ようず作りを体験するプログラム。

(34) 阿波踊り体験・缶バッジ作り体験【徳島】

徳島の伝統である阿波踊りや狸合戦について学び、缶バッジ作り体験を行う。

(35) うちわ作り体験【香川】

香川県の特産物である「うちわ」を作ることで、日本・香川の伝統工芸や文化について理解を深めることができ、また省エネのツールでもあることから、地球環境問題を考える機会となるプログラム。

(36) 水引作り体験【愛媛】

愛媛県四国中央市の伝統工芸品である「水引」の歴史を振り返り、「水引細工」作製を通して、日本各地域に継承されている伝統文化や技術に対してその素晴らしさや、重要性を理解し尊敬していこうとする心を育むプログラム。

(37) 坂本竜馬の紹介【高知】

近代日本の幕開けに大きく貢献した幕末の志士と言われる「坂本龍馬」の生い立ちや業績を知ることにより、今後の歩みの糧とする。また、検定方式を取り入れ合格者には認定証を交付し自信を持たせることを目的としたプログラム。

(38) 炭鉱とエネルギー【福岡】

炭鉱の歴史を世界記憶遺産の山本作兵衛氏の炭鉱絵巻の絵画パネルで紹介し、日本における現在のエネルギー状況のパネル展示で自分達のできる省エネに気付かせ、パネルに書かれている動きが練り

込まれた福岡の炭鉱を基に作られた炭坑節ダンス体験プログラム。

(36) 有田焼き絵付け体験【佐賀】

佐賀の伝統工芸である有田焼きの絵付け体験を体験するプログラム。

(37) 長崎おくんち籠踊り体験【長崎】

国際平和文化都市である長崎の伝統的な祭りであり、九州三大祭りの一つである「長崎おくんち」の中で奉納踊りとして演じられ、郷土芸能である「籠踊り」を演練体験し、異文化に触れると共にその中で必要なチームワークの大切さを会得するプログラム。

(38) エイサー体験【熊本】

熊本と古くから親交の深い沖縄の伝統芸能エイサーについて、パーランクーを使って太鼓のたたき方、踊り方を学び、伝統芸能の良さを体で感じることを狙いとしたプログラム。

(39) 箸と竹籠作り体験【大分】

日本人の日々の暮らしに欠かせない「箸と竹籠」を作製し、人間が道具として手にし食べたであろう箸の原点を考えたり、箸を芸術品(工芸品)にまで仕上げてきた大分県の文化に触れることができるプログラム。

(40) 彫り物細工体験【宮崎】

天孫降臨の地・宮崎県内の各地方に伝わる「夜神楽」の会場に飾り付ける「彫り物」細工を実際に体験し、宮崎県の郷土文化を学ぶことを目的としたプログラム。

(41) 「なんこ」ゲーム体験【鹿児島】

鹿児島県の郷土の遊び「なんこ」(2人が向かい合い10cm程の木の棒を数本後ろ手に持って座り、片手に何本か持って互いに前に出し2人の合計を予想して発表し、互いに手を開いて本数を見せ合い当てた者が勝ち。)を体験し、それを英訳することで外国スカウトも体験することを目的としたプログラム。

(42) 山口県内の文化紹介(茶道体験)

山口県内の団体

(43) 山口県内の文化紹介(書道体験)

山口県内の団体

(44) 山口県内の文化紹介(竹細工)

山口県内の団体

(45) 山口県内の文化紹介(金魚ちょうちん作り)

山口県内の団体

(46) 山口県内の文化紹介(和太鼓体験)

山口県内の団体

(47) クールジャパンブース

大会直営

(48) アニメフェスタブース

大会直営

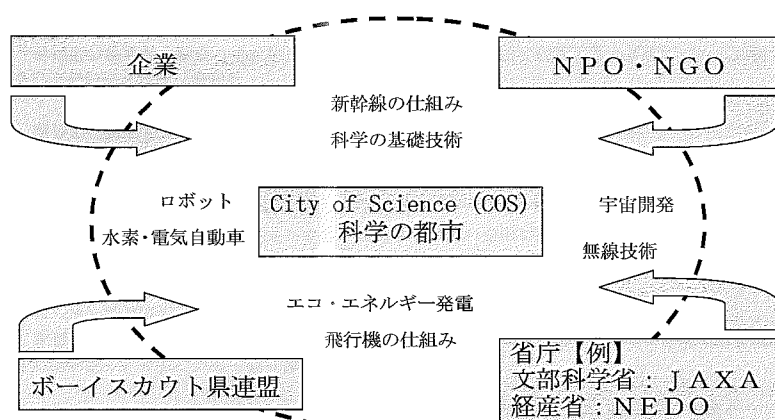
## City of Science (COS)について

### 1. 概要

科学の都市は1日のモジュールプログラムで、自動車、新幹線、発電、電波といった最先端の科学技術を体験し、無線・インターネット、プログラミング、飛行機、自然災害の仕組みといった基本的な科学技術を学ぶプログラムを通して、工業立国日本を理解すると共に、科学技術の進歩、科学の恩恵と問題点に対する理解を深める。

将来のエネルギーについては燃料電池の開発を、そして環境問題、ロボット、自動車等の技術を学ぶ場とする。

### 2. イメージ図

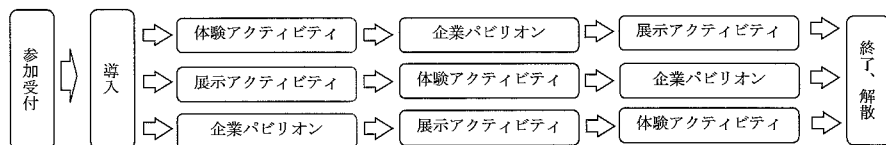


### 3. 教育目標 (例)

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・科学の最先端技術に触れ、科学への興味を持ち、見聞を深める
- ・科学の基礎技術を知ること、身近な生活へ活用を知る
- ・ジャンボリー終了後、科学技術をより知ろうと思うきっかけを作る

### 4. 参加の流れ (検討中)

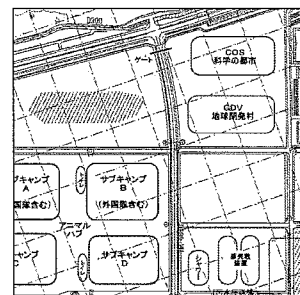


### 5. 持参するもの

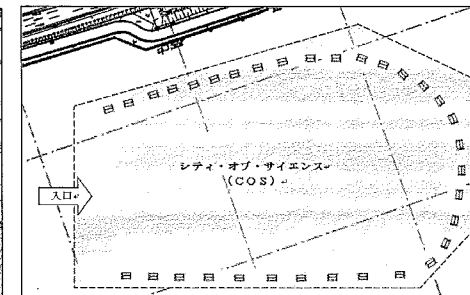
参加者ハンドブック、水筒、帽子、筆記用具

### 6. 会場図 (例)

(1) プログラムエリア配置図



(2) プログラムエリア詳細図



※テントの配置等については、今後変更されることがあります。

### 7. 参加方法 (案)

サイエンスモジュールに参加するSCのスカウトは9時までに、サイエンスモジュールのプログラム実施エリア (左図) の広場に集合してください。参加の受付、モジュールの導入を実施した後自由に各テントを訪問し、プログラムに参加します。プログラムは地域ごとに3つのゾーンに分かれてテントが配置され、ワークショップの提供や展示が行われています。1回あたり60分を目安に実施されているため、最大3つのワークショップ・展示に参加することができます。ただし、3つのゾーンのうち2つのゾーンから1つずつ、計2つのワークショップ・展示を体験することがカルチャーモジュール修了要件になります。

場内で実施するモジュールアクティビティのため、指導者の同行は必要ありません。

### 8. 提供アクティビティ概要

#### (1) 5Rとペーパーリサイクルの先端技術

県連盟派遣団提供プログラム (群馬)

最先端の再生紙の機械を見ることで日本の技術力の素晴らしさを知り、環境・資源の重要性を知り、環境の5Rを理解し、日本の文化の風呂敷と言うものがいかに環境に優しいのかを体験し、生きるためにはいかに環境が大事で資源の再活用等を育むプログラム

#### (2) 「アシモ」の技術紹介・ペーパークラフト作り

県連盟派遣団提供プログラム (埼玉)

日本の最先端技術の結集である本田技研工業のロボット《アシモ》について知り、ペーパークラフトにより《アシモ》を作成します。

#### (3) ハイブリッドカーの仕組み

県連盟派遣団提供プログラム (埼玉)

ハイブリッドカーを題材に、我が国自動車産業の最先端技術、環境に優しい取り組みについて学びます。

#### (4) 飛行機が飛ぶ原理

県連盟派遣団提供プログラム (千葉)

風洞実験や模型の製作を通して、飛行機が飛ぶ原理について学びます。

#### (5) 最先端医療技術

県連盟派遣団提供プログラム (神奈川)

最新医療について紹介し、これまで『不治の病』といわれていたものが克服できるようになったことを、実際の医療機器に触れたり、ゲームを通して理解します。

- (7) 安全な水 県連盟派遣団提供プログラム（東京）  
おいしい水として知られる『東京水』を作り出すメカニズムを知り、実際に水の『濾過』を体験することで、水の大切さを認識します。
- (8) 光触媒の仕組み 県連盟派遣団提供プログラム（東京）  
日本人が発見し、世界的に注目される“光触媒”技術の概要を知り、実験によってその効果を確かめます。また、身近なものへの適用状況について学びます。
- (9) 電気自動車EVの仕組み 県連盟派遣団提供プログラム（静岡）  
化石燃料（石油等）に替わる新しい動力源について知り、電気自動車の原理や仕組みについて理解します。また、電気自動車の将来について考えます。
- (10) マイクロ水力発電の仕組み 県連盟派遣団提供プログラム（愛知）  
水車による発電を実験により体験し、電気をはじめとする資源を大切にすることを学びます。
- (11) カメラの仕組み 県連盟派遣団提供プログラム（愛知）  
ピンホールカメラの撮影体験をとおして、“なぜ物が見えるのか”について科学的に理解します。
- (12) 太陽光発電の仕組み 県連盟派遣団提供プログラム（兵庫）  
太陽光を利用して走る模型自動車や湯沸かし装置の組み立て、実際に使う体験を通して、クリーンエネルギー、化石燃料の代替エネルギーとしての太陽光の活用について認識を深めます。
- (13) 鉄の作り方 県連盟派遣団提供プログラム（福岡）  
鉄の歴史、鉄ができるまで、鉄の種類、生活への活用について展示物を使って学びます。日本の製鉄について世界的視野に立って考察します。
- (14) 空気のカ 大会直営プログラム  
生物が生きるために必要な『空気』。この空気を人はどのように活用しているのかについて、展示物や実験を通して理解を深めます。
- (15) 風のカ 大会直営プログラム  
『風』の力を利用した、新しいエネルギーの作りについて、その原理や仕組みを実験を通して学びます。
- (16) 水のカ 大会直営プログラム  
水力を使ったエネルギー作りについて実験を通して考えます。
- (17) 太陽のカ 大会直営プログラム  
太陽からの『恵み』について、人は太陽のエネルギーをこれからどのように活用しようとしているのか、実験を通して考察します。
- (18) テントの科学 大会直営プログラム  
ドームテントがキャンプの主流になりつつある昨今、《家型テント》について見つけ直すプログラムです。家型テントの“強度”や“快適性”について体感します。
- (19) 五感の科学 大会直営プログラム  
人の“五感（味覚、嗅覚、聴覚、触覚、視覚）”の重要性を実験を通して理解し、“五感”を研ぎ澄ますことがスカウトにとって必要なことを学びます。

- (20) 建物の構造 大会直営プログラム  
“東京スカイツリーは、地震に強いのか？”、“瀬戸大橋はどのようにできたのか？”などを知り、日本の建築技術について学びます。
- (21) 身体の仕組み 大会直営プログラム  
自分の体について測定し、大きさ、健康状態を数字で知ります。緊張している時、病気の時など身体はどう変化するのかを理解します。
- (22) ペットボトルロケット作り 大会直営プログラム  
空気力で飛ぶ“ペットボトルロケット”を作り、ロケットの仕組みを理解します。高く飛ばすにはどんな工夫が必要かを考察します。
- (23) 無線技術の仕組み BSアマチュア無線クラブ  
無線の技術を使えば、遠いところにいる人と話することができます。無線通信をしている様子を見学したり、実際に遠くの仲間の話しを聞くことで、“無線”について興味を高めます。
- ※その他、企業パビリオン等

## Free Time Activities (FTA)について

参加スカウトが空いている時間帯に、自由に参加することができるプログラム。

### 1. APR (ワールド) スカウトセンター

各国連盟や都道府県連盟によるスカウト運動の紹介・展示により、様々なスカウト活動の様子を学ぶことができます。スカウトコレクション (切手・ワッペン・記念品等) の展示を見ることができます。ボーイスカウト日本連盟の取り組みや23WSJプロモーションを見ることができます。

### 2. ワイドゲーム

大会期間中に、7色の色違いの「そ」「な」「え」「よ」「つ」「ね」「に」の標語カードを集めるゲームです。カードは、自己紹介カードにもなっており、多くの友達を作ることができます。標語が完成するとエクストラカードをゲットすることができます。

### 3. 各種スポーツ関連<例>

- ・球技 (フットサル、バレーボール、ドッジボール、ボール運動等)
- ・バドミントン等
- ・運動会 (ムカデ競争、障害物競走、騎馬戦、綱引き、等)
- ・30人31脚、長縄跳び、

### 4. ゲーム、プレイ関連<例>

- ・マウンテンバイク、スケートボード等
- ・カルタ、巨大オセロ、巨大将棋、巨大チェス等

### 5. 工芸・芸術関連<例>

- ・フェイスペインティング、ネイルアート、サンドアート
- ・組みひも、竹細工、水引作り、折り紙、凧作り、シャボン玉作り
- ・スプレーペイント、墨絵、切り絵、マール等
- ・ペーパー、ペットボトル、空き缶クラフト等

### 6. その他

毎朝、サブキャンプ広場を利用してラジオ体操を実施します。

## 信仰奨励活動について

### 1. 概要

信仰奨励エリアでは、参加スカウトの日々信じる教宗派の信仰活動に加え、普段はあまり接することのない他の教宗派について知ることができます。

キャンプやハイキングなどの野外体験を積み重ねていくことで、人間の存在を超えた力や意思を感じる場合があります。その存在に対する感謝とおそれを抱いて生活することで、自分自身の心の中に「善い心」が育ち、それが「強い力」となっていきます。

様々な課題に挑戦し、実践することで私たちの心の中に神 (仏) さまを感じた時、自分の心と向き合い、「私は人のために、何をすればいいのだろう」と思うようになり、「ちかい」と「おきて」の実践に励む自分に出会うことができます。

### 2. プログラム提供時間帯

9時～12時、14時～17時

### 3. 教宗派ブースについて

17教宗派のブースが設置され、信仰する教宗派のブースで礼拝を行ったり、他の教宗派の展示を見て、自らの信仰との共通点や差異を発見する機会を提供します。

#### 【出展教宗派】

神社本庁、浄土宗、曹洞宗、浄土真宗本願寺派、日蓮宗、真宗大谷派、立正佼成会  
天台宗、孝道教団、高野山真言宗、日本カトリック教会、日本基督教団、日本聖公会  
末日聖徒イエス・キリスト教会、金光教、世界救世教、イスラム教

### 4. 信仰奨励章

信仰奨励章の取得課目である9項目のうち8項目が、信仰奨励エリアで細目認定されます。各教宗派ブースには教導職がおり、自身の宗教や興味を持った宗教ブースを訪れ直接話を聞くことができます。

### 5. 信仰奨励アクティビティ

普段の生活から信仰活動に興味を持ちやすいように勾玉作り、数珠作り、ロザリオ作りなどの体験アクティビティを提供します。

### 6. スカウトタウン・サービスの実践

「スカウトタウン・サービス」とは、「自分自身による、自分が信じる宗教礼拝を行う」ことです。自分の心と向き合い、「おきて」を通じて、自分ができていることを約束します。

ジャンボリー期間中、隊長は、「スカウトタウン・サービス」を毎日実施します。朝、「人のために何ができるか」考え、「スカウトタウン・サービス」の中で、みんなの前で話しましょう。そして、話したことを実践しましょう。夜、実践したことを「スカウトタウン・サービス」の中でみんなに話しましょう。

### 7. 宗教儀礼

8月4日 (日) 10:00から、信仰奨励の集いを実施します。自らで求める教宗派もしくは自分の家が信ずる教宗派、興味がある教宗派等、さまざまな理由ではありますが、自らで足を運び、神 (仏) さまと直接的に向き合う時間をつくってみましょう。自らで足を運ぶということは、その教宗派にご縁があることでもあります。

## 地域社会奉仕について

### 1. 概要

### 2. イメージ図

#### 3. 教育目標（例）

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・
- ・
- ・

### 4. 参加の流れ（検討中）

### 5. 持参するもの

### 6. 会場図

### 7. 訪問市町別概要

#### （1）山口市

山口情報芸術センターでアート作品や先端技術に対する新たな発見、メディアリテラシーや豊かな想像力を育み、国宝：瑠璃光寺五重塔で歴史的建造物の保護の重要性・伝統文化・先人の知恵に触れ、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （2）萩市

山口・萩の豊かな自然や歴史を笠山、指月公園、萩博物館で学び、また自然と人間が共生できる「新しいまちづくり」について新たな発見をする。また、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （3）防府市

日本を代表する企業の工場見学等において最先端技術を知り、東大寺別院阿弥陀寺・防府天満宮等で日本特有の信仰や地域との関わりあいなどを理解し、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （4）阿武町

鳴き砂体験や道の駅下での旗の作成、筏レースなどによって自然とふれあう楽しさを体感し、長州音頭体験や地元の小中学校による太鼓・神楽の鑑賞を行い、地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （5）長門市

オリエンテーション時に大正琴、日本舞踊を鑑賞することで日本の伝統芸能を肌で感じ、波の橋立にて海浜清掃を行い自然保護の大切さ、活動を継続することの重要性を学ぶ。また、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （6）宇部市

宇部興産、宇部蒲鉾、協和発酵キリンといった地域に根ざした企業の見学を行うことによって、スカウト達が働くことの意義を感じながら新たな気づきを得て、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （7）山陽小野田市

竜王山、江汐公園等を訪れ、豊かな自然や多くの生き物や昆虫と触れ合うことによって生命の尊さを学びながら素晴らしい感性を養い、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （8）美祿市

日本最大のカルスト台地である秋吉台での凧揚げや、日本最古の銅山跡である長登銅山跡での鋳造体験等を通して、美祿の歴史を肌で感じ、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （9）下関市

1996年に関門海峡のランドマークとして誕生した海峡ゆめタワー、山頂からは瀬戸内海、日本海が一望できる火の山公園展望台といった名所を訪れ、下関の歴史についての理解を更に深め、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （10）上関町

南北朝時代から戦国時代にかけて、村上水軍がこの地に関を設け城を築いたとされる城山歴史公園や、県内洋風建築最古の一つでもある四階櫓を見学することによって、日本の自然を体感しつつ更に古くからある上関町の歴史を感じて、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （11）周防大島町

逗子ヶ浜、白鳥ヶ浜等で海浜清掃を行うことによって、自然保護の大切さ、活動を継続することの重要性を学び、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （12）和木町

約26ヘクタールの広大な園内を持つ蜂ヶ峰総合公園で自然の偉大さを感じながら、JX日鉱日石エネルギー麻里布製油所といった地域に根ざした企業の見学を行い、参加するスカウト達が将来の夢に繋がる新たな気づきを得ることを目的としたプログラム。

#### （13）平生町

太平洋戦争時の関連資料や遺品が展示される阿多田交流会館を訪れ、平和の大切さと命の尊さを学んだり、5世紀前半に造られたものとされる神花山古墳を見学することにより文化財保護の必要性を考える。また、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### （14）田布施町

田布施町郷土館を訪問することによって郷土の歴史と文化に対する理解を深め、県の自然百選にも選ばれている高松八幡宮・自然記念物樹林を見学し自然保護について考える機会を持つ。また、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### (15) 柳井市

4世紀末から5世紀初めに造られ、現在国史跡にも指定されている茶臼山古墳や、明治時代以降も瀬戸内海屈指の商都として繁栄した白壁の街を散策し、柳井の歴史を感じることでより新たな気づきを得る。また、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### (16) 岩国市

岩国往来ウォークや由宇銭壺山などを訪れることによって岩国の歴史を肌で感じ、女流作家・宇野千代の作品中に登場し、市の登録文化財にも指定されている水西書院を訪れ、歴史的建造物を保護する重要性を学ぶ。また、小中学校で地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### (17) 光市

光市民憲章を推進することを目的につくられた光太鼓の鑑賞をし、小中高等学校での交流プログラムを行うことによって、地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### (18) 下松市

東洋鋼飯や日立製作所笠戸事業所などの工場見学を通して、スカウト達が働くことの意義を感じながら将来の夢に繋がる新たな気づきを得て、地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し、異文化に対する理解を深めるプログラム。

#### (19) 周南市

出光興産、山口放送等といった地域に根ざした企業の見学を行うことによって、スカウト達が働くことの意義を感じながら新たな気づきを得て、徳山動物園にて動物との触れ合いの場を持つことにより生命の尊さを学ぶ。また、地元の人々との交流を通して参加者自身の生活との差異を理解し異文化に対する理解を深めるプログラム。

## 自然探求について

### 1. 概要

### 2. イメージ図

### 3. 教育目標（例）

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- ・
- ・
- ・

### 4. 参加の流れ（検討中）

### 5. 持参するもの

### 6. 会場図

### 7. 訪問市町別概要

#### (1) 山口市

きらら浜自然観察公園において自然の豊かさ・生物の多様性を体験し、阿知須町・秋穂町の街並みを巡るハイキング、大会会場を一望できる藤尾山登山、セミナーパークにおいて五感で自然を体験するアクティビティやロッククライミングなどを体験できるプログラム。

#### (2) 阿武町

維新胎動の地である旧松本村や、日本に古くからある漁村・港町の町並みを体験できる奈古でのオリエンテーションによって、地元の人々との交流を持ち、明治維新の原動力となった萩の歴史を感じて、新たな気づきを得ることのできるプログラム。

#### (3) 長門市

オリエンテーション時に大正琴、日本舞踊を鑑賞することで日本の伝統芸能を肌で感じ、油谷青少年自然の家や伊上海浜公園でのカッター漕艇、シーカヤック、魚釣り等を体験することによって、自然とのふれあいや共生することの素晴らしさを学ぶことのできるプログラム。

#### (4) 光市

フィッシングパークでの魚釣り体験などを通して、自然とのふれあいや共生することの素晴らしさを学び、冠山公園一帯での清掃プログラムを行うことにより、参加するスカウトが改めて自然保護の必要性を再認識することを目的としたプログラム。



1. 概要

2. イメージ図

3. 教育目標（例）

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

・  
・  
・

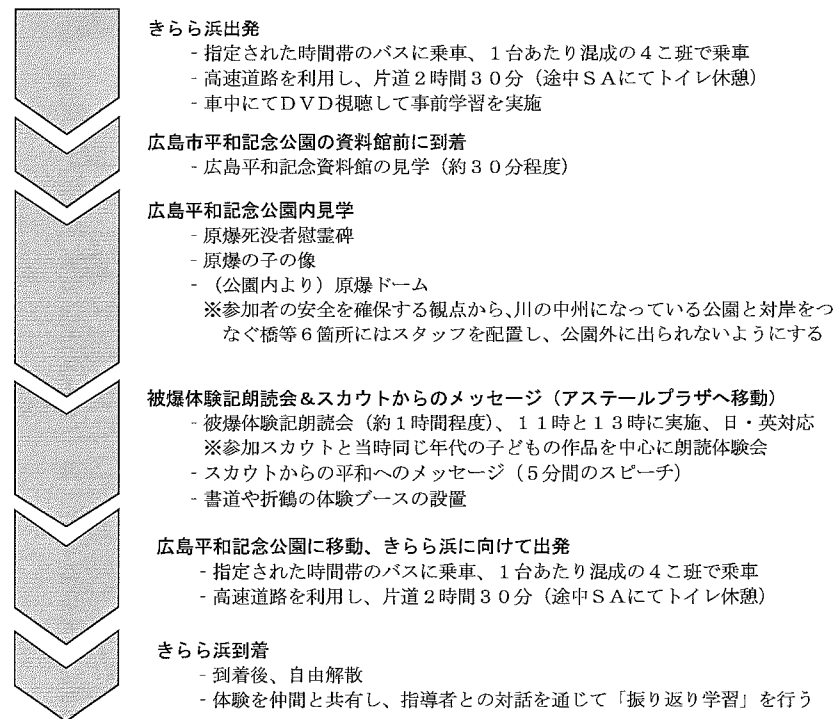
4. 参加の流れ（検討中）

5. 持参するもの

6. 会場図

7. 訪問市町別別概要

1. プログラムの流れ



2. 教育目標（例）

アクティビティ終了までにスカウトが以下の項目を達成していることを目標とする。

- 世界の平和への理解を深める
- 平和の在り方について参加者自身の考えを持つ
- 世界に対して平和へのメッセージを発信できるようになる
- 平和のメッセンジャーとなり、ジャンボリー後に生活地域に戻り、平和の構築に向けて行動しようとする

### 3. 参加スカウトのプログラム集散時間（例）

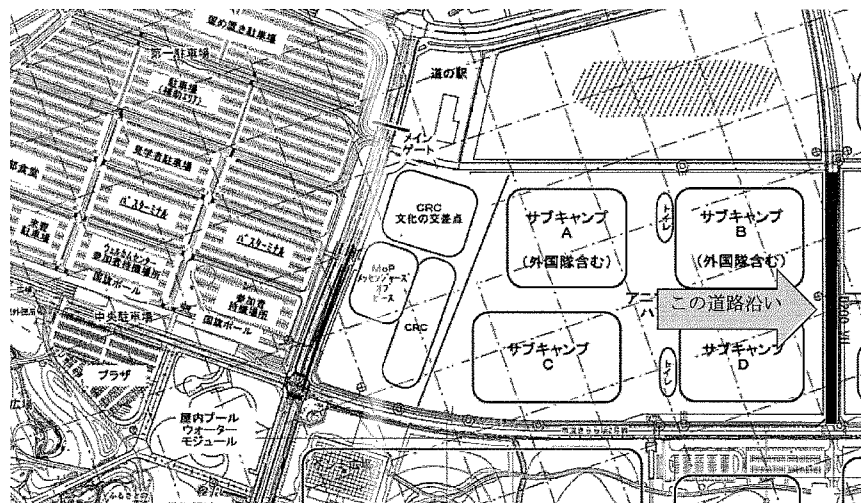
	人数	きらら浜発	広島着	広島発	きらら浜着
S C	グループA	400	6:00	8:25	14:00
	グループB	400	6:00	8:25	14:10
	グループC	400	6:20	8:45	14:20
	グループD	400	6:20	8:45	14:30
	グループE	400	6:40	9:05	14:40
S C	グループF	400	6:40	9:05	14:50
	グループG	400	7:00	9:25	15:00
	グループH	400	7:00	9:25	15:10
	グループI	400	7:20	9:45	15:20
	グループJ	400	7:20	9:45	15:30

### 4. 持参するもの

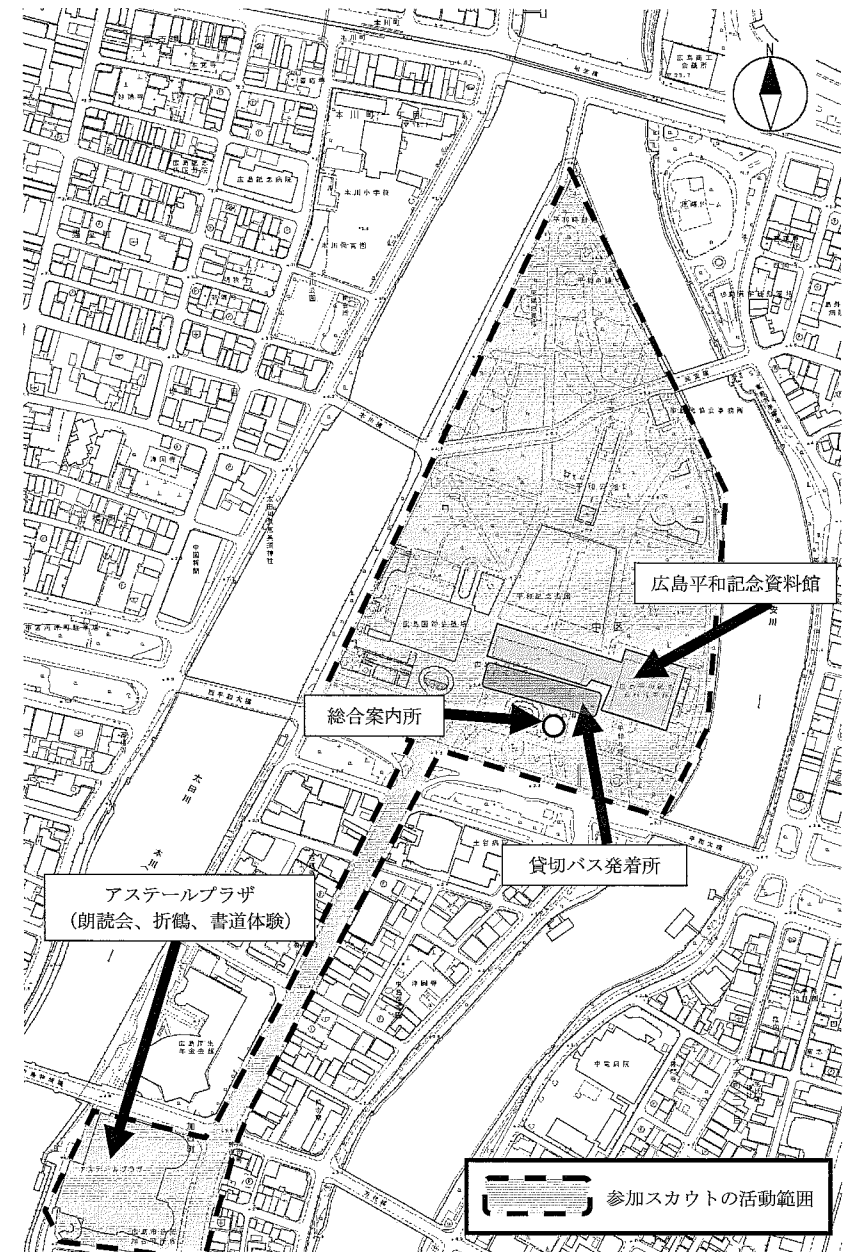
朝食（車中）、昼食（アステールプラザ内または広島平和記念公園内）、水筒、筆記用具、帽子等

### 5. バスの乗車方法について

下図が示すサブキャンプBおよびサブキャンプDの横の道路に20台の貸切バスが配車される。割り当てられた出発時間帯のバスに乗りして、広島へ移動します。



### 6. 広島の会場図



## 広島平和記念式典参列について

### 1. 概要

平和記念式典に参列し、広島市民と共に原爆死没者の冥福と世界恒久平和の実現を祈念する。ボーイスカウト広島県連盟のスカウトと共に広島市平和祈念式典参列者に、一般献花の切り花と式典プログラムを配布する奉仕活動に参加する。広島ピースプログラムで折られた折鶴を「原爆の子の像」に献呈するプログラム。

### 2. 参加方法

各県連盟の代表スカウト合計47人と外国派遣団代表スカウト約30人ほか合計100人が参加する。参加にあたっては、各県連盟の推薦をもって代表スカウトを選考する。

### 3. 持参するもの

制服、1泊用の下着、筆記用具、帽子

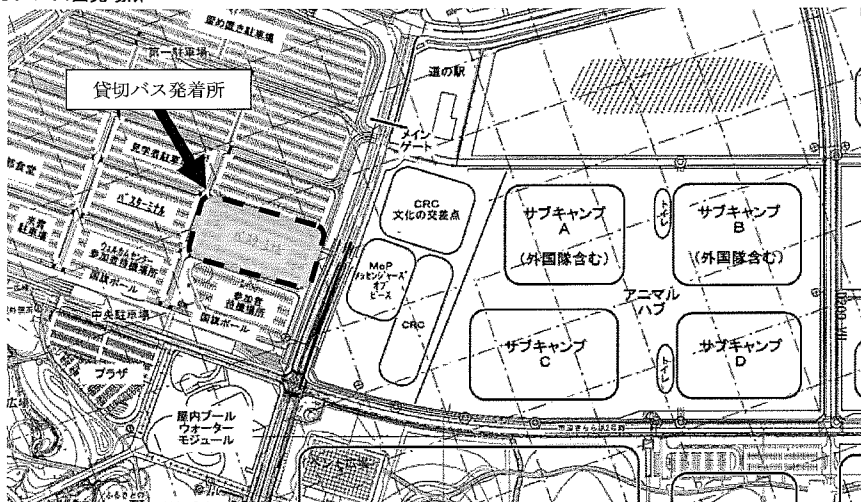
### 4. 場所

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| (1) 宿泊：広島市青少年野外活動センター | 広島市安佐北区安佐町大字小河内 |
| (2) 式典：広島市平和記念公園特設会場  | 広島市中区中島町        |
| (3) 交流会：広島サンプラザ       | 広島市西区商工センター     |

### 5. 主な日程(例)

- |         |       |                              |
|---------|-------|------------------------------|
| 8月5日(月) | 14:00 | きらら浜を出発                      |
|         | 16:30 | 広島市青少年野外活動センター到着、オリエンテーション   |
| 8月6日(火) | 6:30  | 広島市平和記念公園で奉仕活動               |
|         | 8:00  | 広島市平和祈念式典参列                  |
|         | 9:30  | 折鶴献呈式、広島平和記念公園内「原爆の子の像」後方の広場 |
|         | 11:30 | 広島のスカウトとの交流会                 |
|         | 17:00 | きらら浜到着、解散                    |

### 6. バス出発場所



## セレモニーについて

### 1. 開会式

概要：会場に集まる世界中のスカウト同士のエネルギー、新しいものと古いもの、国と国、文化と文化など様々な違いが融合することによってエネルギーが生まれることを体験し、これから始まるジャンボリーの楽しさへの高揚感を高める。

スカウトが持つエネルギーと、ジャンボリーで生まれたエネルギーの相乗効果で、よりよき社会の創造につなげていきます。

テーマ：エナジー（力、Energy）

日時：平成25年8月1日（木）15:30～16:30

服装：制服

### 2. アリーナショー

概要：様々な文化や伝統、物事の見方を学ぶことで、新たなインスピレーションが生まれ、「伝統は革新」を表現するためにこれまでの伝統を基礎に新たな時代を切り開ききっかけを与える。

伝統を知ることによって得る視点、新たなものを体験することによって得る視点など様々な視点を与え、革新へと導きます。

テーマ：イノベーション（革新、Innovation）

日時：平成25年8月4日15:30～17:30

服装：活動に適した服装

### 3. 閉会式

概要：文化も宗教も生まれ育った環境も全く異なるスカウトが世界各地から集まり、お互いの違いを認め、協力し合う世界の平和へとつながる調和を体験します。

ジャンボリー期間中に体験する伝統と最新技術、人間の営みと自然、科学技術と文化などの様々な調和を表現します。そして、2015年の23WSJにはまたきらら浜に戻って来たいと思うきっかけを与えます。

テーマ：ハーモニー（協調、Harmony）

日時：平成25年8月7日19:00～22:00

服装：制服

## 文化交流日（カルチュラルエクステンジデー）について

---

### 1. 概要

16NJ基本実施要領14ページにある通り、8月4日の一日間を、「文化交流日（Cultural Exchange Day）」とし、参加国や都道府県の各地の文化に加え、多様性のある宗教、山口の文化を体験する機会を提供する1日とする。

### 2. テーマ

「Innovation（イノベーション：革新）」

様々な文化や伝統、物事の見方を学ぶことで、新たなインスピレーションが生まれ、「伝統は革新」を表現するためにこれまでの伝統を基礎に新たな時代を切り開くきっかけを与えます。

また、伝統を知ることによって得る視点、新たなものを体験することによって得る視点など様々な視点を与え、革新へと導きます。

### 3. 内容

#### (1) 宗教儀礼

自身の信仰のみならず、世界に様々な信仰について知る機会とし、参加するスカウトが出生、人種、信条の区別なく、ひとつになって平和を願い、対話を行います。

#### (2) 山口の県産品を用いた食事

開催県である山口の県産品を用いた、献立にすることで、山口の食文化を知り、参加者自身の出身の国・都道府県との違いを理解し、食文化の多様性を体験する。

#### (3) アリーナショー

日本の伝統的な祭の要素に加え、山口をはじめとする日本各地の伝統芸能を体験し、文化の多様性を知ります。

#### (4) サブキャンプにおける参加隊同士の出身国・県の文化の紹介

昼食の時間帯や夕食から夜間にかけて各ハブやサブキャンプにおいて、参加隊自身が計画し他隊のスカウトを夕食に招き、地域の伝統的な民謡や舞いを披露することで交流を行い、スカウト同士の親交を深め、未来に向けた人のつながりを形成します。

## ジャンボリーに向けて準備のアイデアについて

---

### 1. 名刺作り

### 2. プロジェクトの実施の場としての活用